

平成23年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成23年2月18日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 総合企画部 政策企画課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>5. 三番瀬の保全について</p> <p>(1) 再生会議を廃止した今、県が三番瀬に対して事業を行う場合には、代わりに作られる専門家会議に対して、諮問機関であった再生会議と同様、必ず意見を求めるべきだがどうか。</p>	<p>県が三番瀬に対して事業を行う場合には、専門家会議に対して、必ず意見を求めるべきだがどうか、とのご質問ですが、</p> <p>専門家会議は、三番瀬の再生を進めていく上で、専門的な見地から評価・助言を得ることを目的として設置するものであり、学識経験者による科学的な知見が必要な事項について、助言等をいただきながら、事業を進めていきたいと考えております。</p>	<p>知事 森田 健作</p>

平成23年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成23年2月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総合企画部 政策企画課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>5. 三番瀬の保全について (2) 地域自治会の代表や環境団体、漁協など、今まで再生会議にかかわってきた団体などから、系統的に、意見を聞く場を設けるべきだがどうか。</p>	<p>今まで再生会議にかかわってきた団体などから、系統的に、意見を聞く場を設けるべきだがどうか、とのご質問ですが、</p> <p>1 三番瀬の再生に当たっては、地元の意見をよく聴きながら取り組んでいくことが重要であると考えております。</p> <p>2 このため、住民参加と情報公開のもとで三番瀬ミーティングを開催して、三番瀬に関わりのある人や関心のある人など、誰もが参加でき、意見を述べる事が出来るものになりたいと考えております。</p>	<p>知事 森田 健作</p>

平成23年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成23年2月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総合企画部 政策企画課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>5. 三番瀬の保全について (3) 今後も順応的管理の方式を踏襲するとのことだが、大事なのは検証作業であり、あらためて県民も参加した検証の場を持つべきだと考えるがどうか。</p>	<p>県民も参加した検証の場を持つべきだと考えるがどうか、とのご質問ですが、</p> <p>三番瀬の再生事業については、三番瀬ミーティングを開催して、誰もが参加でき、意見を述べるようにするとともに、専門家会議で専門的な見地から評価・助言をいただきながら進めていきたいと考えております。</p>	<p>副知事 坂本 森男</p>

平成23年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成23年2月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総合企画部 政策企画課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>5. 三番瀬の保全について</p> <p>(4) 県民の不安を払しょくするためにも、大規模な人工干潟の造成はやらないと宣言すべきだがどうか。</p> <p>(5) 広大な人工干潟の造成はやらないと決めてこそ、市川側の泥干潟も、市民と親しめるような様々な工夫が進むスタートラインに立つことができると思うがどうか。</p>	<p>「大規模な人工干潟の造成はやらないと宣言すべきだがどうか」、「広大な人工干潟の造成はやらないと決めてこそ、市川側の泥干潟も、市民と親しめるような様々な工夫が進むスタートラインに立つことができると思うがどうか」とのご質問に対し、一括してお答えします。</p> <p>1 三番瀬は、東京湾に残された貴重な宝であり、県は地元市とともに三番瀬の再生・保全に取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>2 この三番瀬の再生の一環として、市川市からは、市川市塩浜2丁目の公園予定地前の親水護岸前面において、市民が親しめる海辺とするための干潟の再生を求められています。</p> <p>3 このため、現在取り組んでいる干潟的環境形成試験を引き続き実施し、その結果について検証・評価しながら、干潟的環境の拡大を目指していきたいと考えております。</p>	<p>副知事 坂本 森男</p>

平成23年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成23年2月18日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 県土整備部 道路計画課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>5. 三番瀬の保全について</p> <p>(6) 第二東京湾岸道路に関して、湾岸地域の東京千葉断面の交通量が減ってきている今、はじめに3環状9放射のネットワークありきの発想を止めて、道路計画そのものを中止すべきと思うがどうか。</p>	<p>1 3環状9放射は、首都圏における骨格となる道路ネットワークであり、東京都心部に流入する通過交通などを適切に分散し、渋滞緩和に寄与するなど、様々な効果を持った、首都圏にとって極めて重要な計画であると考えています。</p> <p>2 その一部を構成する第二東京湾岸道路は、本県の湾岸地域における慢性的な交通混雑の解消や沿道環境の改善に寄与することなどから、本県にとっては重要な道路と考えております。</p>	<p>副知事 石渡哲彦</p>

平成23年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成23年2月18日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 県土整備部 道路計画課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>5. 三番瀬の保全について (7) 少なくとも、県として 現段階で必要性の検証を すべきと思うがどうか。</p>	<p>1. 第二東京湾岸道路は、現在構想段階であり、 今後、事業者が決定されたのち、事業者に よって、事業の内容や費用対効果について評価 されるものと考えております。</p>	<p>副知事 石渡哲彦</p>

平成23年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成23年2月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 環境生活部 自然保護課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>5. 三番瀬の保全について</p> <p>(8) 県が決断して、来年の締約国会議での船橋側の先行登録に向けて動くべきと思うがどうか。</p>	<p>1 三番瀬のラムサール条約への登録は、地元関係者などの合意のもとで、最終的には、国の判断で行われるものです。</p> <p>2 国は、三番瀬について全体登録を進める考えでありまして、仮に、船橋側を先行登録する場合であっても、全体登録について、地元関係者の合意を得る必要があるとしております。</p> <p>3 三番瀬の全体登録については、早期登録を望む声がある一方、登録は時期尚早であるとの声があるなど、地元の意見は様々であることから、県といたしましては、国の考え方を踏まえまして、地元関係者の合意が得られるよう、地元4市と連携して取り組んでまいります。</p>	<p>副知事 坂本 森男</p>

平成23年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成23年2月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総合企画部 政策企画課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>（再質問）</p> <p>市川側の泥干潟の部分、その人工干潟の造成についてやらないという言葉は聞けませんでした。</p> <p>それどころか、干潟的環境の拡大、そのことに力を入れていくかのようなそういうお話がありました。</p> <p>しかし、この海域というのは三番瀬の中で最も生物相が豊かなんです。市民調査の会の皆さんが毎月行っている調査では、動物195種、植物15種、本当に素晴らしい自然が残されています。</p> <p>ぜひ、県としてこの海域の豊かさを認めるのかどうか、それを確認しておきたいと思います。</p>	<p>猫実川河口周辺の生物の多様性の話がございました。</p> <p>泥質の干潟に適した生物が多く生息しているということでございますが、それは事実でございますが、一方で、水質が悪いとか、アサリ等にとって好ましくないとか、という色々な意見がございます。</p> <p>そういった様々な意見があるという風に認識いたしておりまして、いずれにしましても、行政が主体となりまして、地元4市と一緒に、三番瀬の再生、保全に、一層進めて参りたいと考えております。</p>	<p>副知事 坂本 森男</p>